

ロボット

フィジカルAI

まるいちの視点

本講演会は岐阜大学全学共通教養科目
「自然科学総合（ロボット文化論）」
を特別公開する形で実施します



配信視聴を希望の場合
お申し込みはこちらから

受講無料

定員 **70** 名

時間 16:30-18:00 最大18:30まで

主催 岐阜大学
航空宇宙生産技術開発センター
サイバーフィジカルものづくり教育研究基盤室

配信 YouTube Live配信
※オンライン参加は事前登録制
お申し込みが必要です



 IPTeCA
航空宇宙生産技術開発センター
INTELLIGENT PRODUCTION TECHNOLOGY RESEARCH & DEVELOPMENT CENTER FOR AEROSPACE

 東海国立
大学機構

 名古屋大学  岐阜大学

サイバーフィジカル 講演会

2026年 11月9日 月

フィジカルAIの登場により、ロボットと私たちの生活の関係は新たな段階に入りつつあります。本講演会では「まるいちの風景」作者の柳原望先生に作品の視点からご講演いただき、続いて認知科学者の小笠原先生と本学のロボット工学・HRI研究者によるパネルディスカッションを行います。

柳原 望 氏
(漫画家)

1991年白泉社にてデビュー。
「一清&千沙姫シリーズ」、「まるいちの風景」、「高杉さん家のおべんとう」、「早川家の相続案件」など。
「まるいちの風景」は2000年『TIME』アジア版ロボット特集にも掲載。
「まるいちの風景」の50年後を描いた「Postまるいちの風景」を同人誌にて製作中。

小笠原 秀美 氏
(認知科学者)

中京大学工学部情報工学科 教授。
状況が時々刻々変化する動的課題（ビデオゲーム「バックマン」等）や与えられた条件を満たす答えを探す制約充足問題（「お絵描きロジック」等のペンシルパズル）などを材料として、問題を解く時の認知活動やその熟達化の解明や、その認知過程のモデルの構築とその手法について研究している。

お問い合わせ

お問い合わせ 岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センター

✉ ozeki.tomoe.m1@f.gifu-u.ac.jp